

科 目	書道 I	単位数	2 単位	学 年	第 1 学年	講 座	1 年 1 組
教科書	書道 I		副教材等	なし			

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
------	--

	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 書の実践の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 書によさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

時 期	学 習 計 画 及 び 内 容		評 価 方 法
1 学期	4月 書の実を求めて 5月 漢字の書の学習 九成宮醜泉銘の鑑賞と臨書 6月 孔子廟堂碑の鑑賞と臨書 7月 雁塔聖教序の鑑賞と臨書	<ul style="list-style-type: none"> 用具・用材について知り、書道の学習における基本的な事項を理解する。 漢字の楷書の古典に基づく学習により、書の多様な表現の可能性にふれる。 代表的な楷書の古典を鑑賞し、それぞれの古典について、作者や時代背景等の知的理解をする。 基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を、臨書学習により習得する。 	課題レポート 振り返りシート 作品提出 授業態度
2 学期	8月 漢字の書の学習 9月 蘭亭序の鑑賞と臨書 争坐位稿の鑑賞と臨書 10月 風信帖の鑑賞と臨書 11月 漢字仮名交じりの書の学習 12月	<ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴について理解する。 代表的な行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等に関する知的理解をする。臨書学習により各古典の特徴を把握することにより、行書の基本的な用筆法を習得する。 これまでに学習した漢字の古典をもとに、その表現を応用した漢字仮名交じりの書の制作を行う。 	課題レポート 振り返りシート 作品提出 授業態度
3 学期	1月 漢字の書の学習 泰山刻石の鑑賞と臨書 2月 篆刻の学習 3月 学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 篆書の学習については、特性等を考慮して学習する。 作品に対する効果を考え、姓名印を刻し、押印する。 一年間の授業で取り組んだ清書の作品をまとめ、作品集にする。 	課題レポート 振り返りシート 作品提出 授業態度

学習の方法	<ol style="list-style-type: none"> 「表現」の内容は、主に古典の名跡をもとにした臨書で、用筆・運筆、また字形や全体の構成などの基本的な技法を習得する。 「鑑賞」においては表現されたものの特性、表現効果、価値などの知的理解を深め、美に対する感受性を養う。 地域の文化財や美術館などを鑑賞する機会を作り、積極的に書美を鑑賞する姿勢を養う。
-------	---

備考	
----	--